

## コンクール概要

### ■日程・会場

予選受付締切 2026年12月13日(日)  
本選出場者発表 2027年1月18日(月) 予定  
※弊社ホームページにて結果発表掲載、予選参加者全員に文書にて通知  
本選 2027年4月23日(金)、24日(土) B 部門(一般部門)、  
25日(日) A 部門(ピアノ演奏家部門)  
本選会場:ベヒシュタイン・セントラム 東京ザール  
※A・B 部門共に本選終了後、会場にて入賞者を発表

### ■部門及び参加資格

1. A部門 (ピアノ演奏家部門)
2. B部門 (一般部門)

### ■審査方法

1. 予選 動画による審査 《審査員:イヴ・アンリ》  
通過の可否にかかわらず申込者全員にアンリ氏による講評をお渡しします。  
撮影が難しい方を対象に弊社にて2026年12月初旬頃に「予選録画会」を開催予定。  
詳細は弊社HPにて後日案内いたします。
2. 本選 公開コンサート形式  
会場:ベヒシュタイン・セントラム 東京 ザール

### ■本選審査員 (敬称略)

イヴ・アンリ  
菅野 潤  
堀江 真理子

### ■参加費 (全て税込)

予選: A部門 17,000円 B部門 15,000円  
本選: A・B両部門とも27,000円  
予選講評は英語か仏語から選択できます。翻訳が必要な方は別途2,000円を参加費とあわせてお支払いください。  
※会場までの旅費及び宿泊費等は参加者にご負担いただけます。

### ■表彰・賞

**ノアン賞:**ノアン フェスティバル ショパン イン フランス2027  
(2027年7月15日~22日または22日~28日)の参加権利  
~ノアン フェスティバルの公開レッスン4日間の受講と、  
ノアンフェスティバルの修了演奏会で演奏することが出来ます~  
日程:マスタークラス フェスティバル期間の内4日間(予定)  
修了コンサート フェスティバル最終日


**ショパン・ナイト賞:**「ショパン・ナイトの参加権利」  
~ショパンの命日を偲ぶコンサートで演奏することができます~  
日程:2027年10月15日~17日のいずれか

**ノアンパスポート賞:**ノアン フェスティバル ショパン イン フランス  
2027のコンサートパスポート  
日程:2027年7月15日~22日

**ベヒシュタイン・サロン賞:**アンリ教授のレッスン受講権利(1コマ無料)  
日程:2027年秋以降

※各カテゴリーの中で1位から3位を表彰し、表彰状およびトロフィーを授与いたします。  
※部門により対象の賞が異なります。詳細は要項をご参照ください。

主催 株式会社ベヒシュタイン・ジャパン  
協賛 Nohant Festival Chopin in France  
後援 C. Bechstein Pianofortefabrik AG(ドイツ・ベヒシュタイン本社)  
公益財団法人 日本ピアノ教育連盟  
一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)  
アイエムシーミュージック(英 IMC MUSIC)

 ピティナ提携コンクール

### ■お申し込みの流れ

① 当コンクールの要項・申込書をベヒシュタイン・ジャパン  
ホームページもしくは店頭よりご入手ください。

[https://www.bechstein.co.jp/news/  
6th\\_nohant\\_festival\\_chopin\\_injapan\\_competition/](https://www.bechstein.co.jp/news/6th_nohant_festival_chopin_injapan_competition/)

第6回ノアンコンクールHP



② 要項を必ず最後までお読みの上、申込書に必要な事項を全て記入し、2026年12月13日(日)までにお送りください。

なお、顔写真データは2つの方法のどちらかをお選びいただき、申込と同時に送ってください。

- 1) ギガファイル便等のURLダウンロードツールでアップロードし、URLを事務局へ送付
- 2) 事務局(competition@bechstein.co.jp)へメール添付

③ 参加費、予選講評翻訳が必要な方は別途2,000円をあわせ、下記へお振込みください。

支払期限は 2026年12月13日(日)です。  
支払期限が過ぎた場合は参加資格が取消となりますのでご注意ください。

※申込書類に不備や記載漏れがあった場合は事務局より連絡いたしますが、締切期日を過ぎた場合は予選の審査対象になりませんのでご注意ください。お早めの申し込みをお願いいたします。ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。  
※いかなる場合も申込書類の返却、参加費の返金はいたしませんのでご了承ください。

#### お振込先

銀行名 三菱 UFJ 銀行 烏山支店  
店番 358  
口座番号 普通 5341522  
口座名 カ) ベヒシュタイン・ジャパン

#### ■ 申込送付先・お問合せ先

株式会社ベヒシュタイン・ジャパン 本社八王子センター  
〒192-0063 東京都八王子市元横山町1-12-6  
TEL: 042-642-1040(10:00-18:00/土日定休)  
E-mail: competition@bechstein.co.jp  
担当/泰田

  
C. BECHSTEIN  
KLAVIERSCHULE

# 第6回 ノアンフェスティバル ショパン イン ジャパン ピアノコンクール

Nohant Festival Chopin Piano Competition in Japan

nohant  
FESTIVAL  
Chopin  
Un romantisme nature

「Nohant Festival Chopin」はショパンが数年にわたり夏の4~5ヶ月を過ごし、多くの傑作を生み出したフランスのリゾート地「ノアン」で毎年開催されている音楽祭です。

巨匠ピアニスト アルド・チッコリーニを中心に創設され、2026年には60回を数える、フランスで最も歴史のある音楽祭の一つとなっています。この音楽祭ではショパンが愛したピアノ「プレイエル」の流れを汲むベヒシュタインが2018年から公式ピアノとして採用され、また、ベヒシュタイン・ジャパンの招聘ピアニストでもあるイヴ・アンリ氏が芸術監督(会長)を務めています。

ベヒシュタイン・ジャパンが2016年より開催している「ノアンフェスティバル ショパン イン ジャパン ピアノコンクール」は、イヴ・アンリ氏によるDVD審査の予選や、公開コンサート形式での本選を経て、フランスの「Nohant Festival Chopin」での演奏会出演やマスタークラスへの参加など、現地ノアンでショパンを奏するという大変貴重な体験をしていただくピアニストを選考するコンクールとなっています。

この度「第6回 ノアン フェスティバル ショパン イン ジャパン ピアノコンクール」の出場者を募集いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



Nohant Festival Chopin Piano Competition in Japan organisé avec les pianos C. Bechstein est l'occasion pour vous à la fois de concourir, comme dans d'autres compétitions, mais celui-ci est particulier car si vous le gagnez, vous pourrez venir à Nohant, ce lieu historique où Chopin a composé tant de chefs-d'oeuvre entre 1839 et 1846.

Que vous soyez un jeune pianiste qui se destine à une carrière de pianiste, ou que vous soyez un amateur qui aime la musique de Chopin comme nous l'aimons tous, tout le monde peut participer et avoir une chance de gagner deux prix principaux. Dans la catégorie « jeune soliste » : une semaine de masterclasses et un concert en clôture du Nohant Festival Chopin 2027 sur la scène de l'Auditorium Chopin du Domaine de George Sand où les plus grands pianistes, d'Arthur Rubinstein à Evgeny Kissin, se sont produits depuis 1966. Dans la catégorie « grands amateurs » : un concert lors de la Nuit Chopin, en octobre 2027, lors des célébrations de la mort de Chopin que nous organisons chaque année au Château d'Ars situé à proximité de Nohant et qui appartenait au médecin de George Sand qui a soigné Chopin entre 1839 et 1846. Si vous gagnez cette catégorie, vous pourrez jouer au Château d'Ars pour la Nuit Chopin qui aura lieu en octobre 2027.

Rejoignez-nous en vous inscrivant pour les pré-sélections qui auront lieu à la fin de l'année au C. Bechstein showroom de Tokyo en vue du concours qui se déroulera au même endroit en avril 2027. Et j'espère que nous nous retrouverons en France en juillet puis en octobre 2027, lors du Nohant Festival Chopin au Domaine de George Sand et de la Nuit Chopin au Château d'Ars.

Bonne chance à tous et bonne préparation. A Bientôt !

Yves Henry  
Président du Nohant Festival Chopin  
Créateur de la Nuit Chopin

ベヒシュタイン・ジャパンが主催するノアンフェスティバル ショパン インジャパン ピアノコンクールは、他と同様にコンクールではありませんが、特徴的な点はもし特別賞を受賞されると、貴方がノアンへと招待されるところにあります。この地は1839-1846年にかけてショパンの傑作が生み出された歴史的な場所です。

あなたがピアニストとしてのキャリアを目指す若いピアニストであっても、もしくは我々と同様にショパンを愛するピアノ愛好家であったとしても、みな参加をすることが可能であり、2つの主要な賞を獲得するチャンスがあります。若いソリストを含む(ピアノ演奏家)部門では一週間のマスタークラスへの参加と、1966年に創設され、ルービンシュタインやキーシンをはじめとする偉大なピアニストも演奏をした、ドメヌ・ド・ジョルジュ・サンドのショパン公会堂(羊小屋ホール)で行われる閉幕コンサート2027で演奏していただきます。

上級愛好家を含む《一般・ピアノ演奏家》部門については、2027年10月にショパンナイトコンサートが催される際、これは毎年ノアンの近くに位置するシャトーダルスで、ショパンを偲ぶ会を催しているのですが、ここはショパンを診察したジョルジュ・サンドのかかりつけ医の持ち物であった場所で、もし貴方がこの部門で受賞されると、この2027年10月のショパンナイトで演奏することができます。

さて前回と同様に、2027年4月にベヒシュタイン・セントラム東京で開催されるコンクール本選へ向けて、まずは2026年12月の予選にお申し込みください。

そして2027年の7月そして10月にフランスで、ドメヌ・ド・ジョルジュ・サンドで行われるノアンフェスティバル・ショパンや、シャトーダルスのショパンナイトで一緒にできることを楽しみにしています。

みなさまの幸運を祈るとともに、良い準備をされることを願います。またお目に掛かりましょう。

ノアン フェスティバル ショパン イン フランス会長  
ショパンナイト クリエイター  
イヴ・アンリ

翻訳:尾関 友徳



今年も「第6回 ノアンフェスティバル・ショパン・イン・ジャパン・ピアノコンクール」を開催できますことを、心より嬉しく思います。本フェスティバルに寄せるコンテスタントの皆様情熱、そして開催を支えてくださるすべての関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。ノアンは、ショパンが創作の時を過ごし、多くの名作を生み出した特別な場所です。そこに流れていた空気、芸術家たちの対話、そして自然とともにあった創造の時間——本フェスティバルは、その精神を日本において分かち合う場でありたいと願っております。近年、ピリオド楽器への関心が高まるなかで、ショパンが思い描いた響きや

表現について語り合う機会が増えております。私たちベヒシュタインが大切にしている、人の声のような抑揚、豊かな色彩、多層的な響きは、まさにショパンの音楽が内包する詩情と深く響き合うものです。そのDNAは創業期より現代に至るまで受け継がれ、音楽を語り合うための楽器として存在し続けています。本フェスティバルが単なる技術の競い合いではなく、ショパンの精神に触れ、音楽を通して互いに学び、響き合う祝祭の場となることを心より願っております。コンテスタントの皆様、そしてご指導にあられる先生方にとって、ここでの時間が豊かな芸術的対話の機会となりますように。

株式会社ベヒシュタイン・ジャパン  
代表取締役社長 加藤 正人

## 「第5回ノアンフェスティバル ショパン インジャパン ピアノコンクール」 受賞者 ノアン体験レポート

第5回コンクールにおいてノアン賞受賞の島田瑚子さん、  
ショパンナイト賞受賞の黒住友香さんのノアン体験レポートをお届けします。

### <Nohant Festival Chopin> 島田 瑚子さん ノアン賞受賞

2025年7月17日～23日、フランス中部ノアンのジョルジュ・サンド邸で開催されたノアン・ショパンフェスティバルに参加させていただきました。毎日ショパンに触れ、学び、音楽と向き合い続けたあの時間は、今も胸の奥に静かに息づいています。コンサートやマスタークラスがぎゅっ詰まった一週間は、決して楽ではありませんでしたが、その分、かけがえのない濃密な日々となりました。

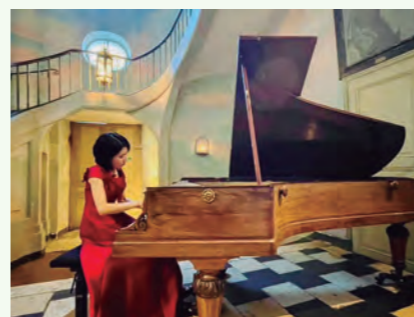


パリから約4時間、電車と車乗り継いだノアンへの道のり。窓の外に広がる金色の藁畑や一面のひまわり畑に、思わず息をのみました。ようやく到着したジョルジュ・サンドの邸宅は、自然に包まれた静かな美しさに満ちていて、まるで物語の中に入り込んだような感覚に胸が高鳴ったのをよく覚えています。

毎朝のマスタークラスでは、フォルテピアノとモダンピアノの2台を用いながら、ショパンの楽譜に込められた意図を丁寧に探っていききました。時代の奏法を意識しながら、ペダルやフレーズングを一つひとつ見直していく時間は、難しさと同時に大きな発見に満ちていました。すべてフランス語で進むレッスンに必死で食らいつきながらも、その場に流れる温かな空気に何度も救われ、最後まで集中して向き合うことができました。



夜になると、邸宅の隣のホールで開かれる演奏会へ。ダン・タイ・ソン、シモン・ネーリング、ドミトリー・アプロギンといった巨匠たちの響きを間近で聴けたことは、何にも代えがたい経験でした。とりわけ初めて生で聴いたフォルテピアノの演奏会では、言葉にできないほど心を揺さぶられ、「これがショパンなのだ」と全身で感じた瞬間でした。演奏後に直接お話しする機会にも恵まれ、その音楽だけでなくお人柄にも強く惹かれました。



ショパンにとって大切な場所だった、ジョルジュ・サンドの館で演奏をするという、夢のような機会を与えてくださいました。イヴ・アンリ先生を始めベヒシュタイン・ジャパンの皆様心より御礼申し上げます。

当初ショパンの命日に予定されていたコンサートは、直前に日程が1日前倒しになり、プログラムを考え直す必要があったりと、様々なハプニングもありましたが、それも含めて今後の糧となる素晴らしい経験となりました。

プログラムはショパンのマズルカOp.30、舟歌、ソナタ第3番を演奏させていただきました。同じコンサートで出演予定だったポーランドの歌手の方が体調不良でキャンセルと聞いたのはコンサート前日。日本から同行してくれていたデュオのパートナーであるチェリスト神倉辰翁さんがいたこともあり、アンリ先生からピアノとチェロのデュオコンサートにしないかと驚きのご提案を頂きました。日本からチェロを持って行っていなかったのですが、現地に偶然にもアンリ先生の息子さんが20年以上前に使っていたものがありました。



ピアノソロでショパンを、チェロソロでバッハを、そして最後にデュオでメンデルスゾーンの無言歌を演奏しました。

邸宅に置かれたブレイエルのピアノで演奏させていただいた時間も、忘れられない思い出のひとつです。初めて触れる楽器に緊張しながらも、多くのお客様に耳を傾けていただけたことが本当に嬉しく、心に残っています。また、朗読劇とともにショパンを奏でる機会にも参加させていただき、かつてこの場所で過ごしたであろう時間に思いを重ねながら音を紡ぐという、特別で豊かな体験となりました。



最終日には、フランス、ポーランドの受講生とともに2時間にわたるショパンプログラムを披露しました。憧れの巨匠と同じ舞台・同じ空間で、満員のお客様の前に立った瞬間、胸がいっぱいになりました。一音一音を大切に届けたいという思いで演奏した時間は、今でも鮮明に心に残っています。

この一週間は、音楽だけでなく、人との出会いにも恵まれた時間でした。共に過ごした仲間とは、短い時間とは思えないほど深い絆を感じ、別れの瞬間には思わず涙がこぼれました。支えてくださった先生方やスタッフの皆様、そして温かく見守ってくださったお客様の存在に、何度も励まされ、背中を押していただきました。

ノアンで過ごした日々は、私にとって大切な原点のひとつになったように思います。ジョルジュ・サンドの遺したこの場所で、ショパンの息遣いを感じながら過ごした時間、そして音楽と人とが深く結びつく瞬間の数々は、これからの私を支えてくれる大きな力です。



このような貴重な機会をくださった関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。ここで得た経験と出会いを胸に、これからも自分の音楽と真摯に向き合い続けていきたいと思ひます。

### <Chopin Night>

### 黒住 友香さん ショパン・ナイト賞受賞

当日のピアノは、ショパン時代のブレイエル。本当に繊細な楽器で、チェロも長い間使われていなかったためいつ弦が切れてもおかしくない状態。それでもどちらも素晴らしい楽器で、あの寒さの中コントロールするのは至難の業でした。



私たちが、そしてお客様も、心と耳を研ぎ澄ませて、かすかな機微を感じようとしていました。現代では、そして日本では感じられないような経験でした。演奏を終えた後に、勇気を振り絞って、丸暗記した拙いフランス語でスピーチをしました。詰まりながらもお客様に助けをもらいながら、最後まで話すことができました。「また来年も来てね」と声を掛けてもらって、何とか想いを伝えられたんだと嬉しかったです。



ショパンとジョルジュ・サンドが生きたサンドの館でブレイエルを弾けることだけでも奇跡なのに... そんな特別な場所で、ソロだけでなく当時のピアノとチェロのデュオまで演奏できたことは今でも信じられないような幸せなことでした。

ショパンの命日を偲ぶコンサートとして、私たちににとって一生忘れられない特別な演奏会となりました。

またもう一度、ノアンを訪れて演奏会をすることが今の私の夢です。ノアンで出会った素敵な方々に再会できる日を楽しみに、これからもピアノとショパンに向き合い続けます。